

在日本大韓民国・民団中央本部「第62周年 光復節 中央記念式典」祝辞

私は自由民主党の国際局長代理を務めております、衆議院議員・猪口邦子と申します。自由民主党を代表し、一言ご挨拶申し上げます。

団長ならびにご列席の皆様、本日は在日本大韓民国・民団「第62周年 光復節 中央記念式典」に我が党をお招きいただきましたことに、まずは心より、感謝申し上げます。また皆様が日本と韓国の友好関係をより一層深めるため、両国民の交流や連携の促進など日韓間の架け橋としての役割を果たされてきたことに、改めて敬意を表します。

日韓両国は、民主主義、市場主義経済といった基本的価値を共有する大切な隣国同士であり、相互理解と信頼に基づいた未来志向の関係を築いていく努力を積み重ねているところであります。昨年、安倍晋三内閣総理大臣が就任後の初の外遊先の一つとして韓国を訪問されましたのも、まさにそのような考え方に拠るものであり、自由民主党として、日韓両国の友好関係を一層発展させるために、幅広くまたきめ細かい努力を引き続き重ねていきたいと思っております。

日本と韓国の間では、経済、文化、芸術、スポーツなど、さまざまな分野での交流が活発に進展しており、1965年の国交正常化当時は1年間で1万人に過ぎなかった日韓両国の間の人々の往来は、今や、一日一万人を超え、年間約450万人に達しています。

また日韓両国は、北東アジア地域および国際社会の平和と繁栄のためにも協力・連携して取り組んでおり、今後ともこうした努力を続けることが重要であると考えます。今月の28日から30日まで行われる南北首脳会談につきましても、朝鮮半島の非核化等のための関係国の努力に弾みをつけるものとなることを期待しております。

今後も日韓のあらゆるレベルでの対話と交流、協力と連携が一層進展するよう心から祈念しております。私は衆議院議員となる前、長年にわたり大学教授として国際政治学を教えておりましたが、学問の分野でも日韓交流は加速的に活発で深いものになりつつあり、また両国のとりわけ学生たちや若者世代の未来志向の交流は人間社会の希望と可能性を思わせます。

これからも自由民主党は、日韓友好促進と共通の未来のために各分野・各レベルの交流や連携を促進し、日韓関係の発展のためにたゆまぬ努力を怠ることをお約束申し上げます。また在日本大韓民国・民団の、より一層のご発展と、ご関係の皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。自由民主党を代表しての私の挨拶といたします。

平成19年8月15日

自由民主党国際局長代理・衆議院議員 猪口邦子